



デ ー タ あ り

令和4年12月19日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 永田・江口
電話 782-2114
(男鹿水族館G A Oと同時発表)

ホッキョクグマのフブキが来園します

公益社団法人日本動物園水族館協会のホッキョクグマ管理計画に基づき、ホッキョクグマの「フブキ」がブリーディングローンにより秋田県の男鹿水族館G A Oから来園しますのでお知らせします。

東山動植物園では現在ホッキョクグマを飼育しておりませんが、今回の移動により東山動植物園での展示を再開することになります。

なお、本件は男鹿水族館G A Oと同時発表しています。

記

1 来園するホッキョクグマについて

(1) 個体情報

愛称	性別	体重	生年月日	出生地
フブキ	オス	298 kg (12月2日時点)	2020年12月26日	男鹿水族館G A O

(2) 来園予定日

令和5年3月中

(3) 来園理由

公益社団法人日本動物園水族館協会における「生物多様性委員会ホッキョクグマ計画推進会議」と連携して国内におけるホッキョクグマの繁殖推進等に協力するため。

2 その他

- ・来園等の情報については、改めてお知らせします。
- ・動物搬入時を含め、公開日まで撮影はできませんのでご了承ください。なお、来園時の写真等が必要な場合はご相談ください。

(参考)

■国内のホッキョクグマ飼育頭数 (2021 年 12 月 31 日現在)

18 施設 36 頭 (オス 12 頭、メス 23 頭、不明 1)

■ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の賃借契約で、動物園間で個体を移動させて新たなペア形成を促すことによって、繁殖に寄与することを目的としています。

■ホッキョクグマについて

オスは体重約 500kg、メスは体重約 350kg ありクマ科の中で最も大きい。北極圏の過酷な環境でも活動できるように非常に密な毛を持ち、厚い皮下脂肪を持つ。単独性で、メスと哺乳中の仔のみが約 2.5 年間行動を共にする。繁殖は 3-5 月に行われるが、出産は 11 月から翌年の 1 月中旬にかけて行われる。

ホッキョクグマは肉食性の海生哺乳類であり、野生下ではワモンアザラシなどを捕食する。気候変動による北極海の海氷の減少に伴い生息域が縮小している。また、食物連鎖における最上位捕食者であるため、生物濃縮により PCB などの化学物質に汚染される危険がある。ワシントン条約附属書Ⅱ表、IUCN レッドリスト：VU (絶滅危惧Ⅱ類)。

■写真



来園する個体 (フブキ) 写真提供：男鹿水族館 GAO (令和 4 年 10 月 19 日撮影)